

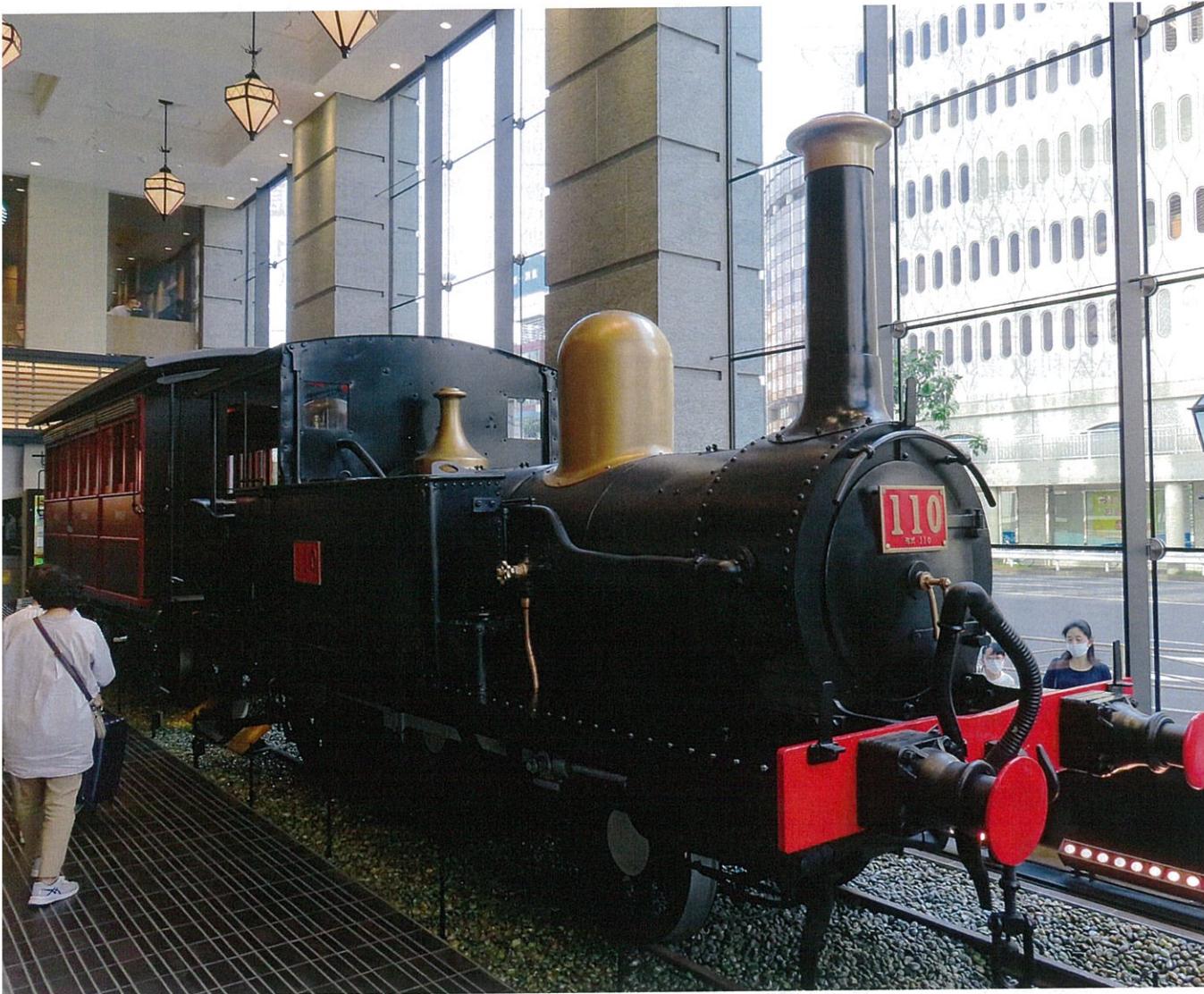
2022 10/11

No.2172

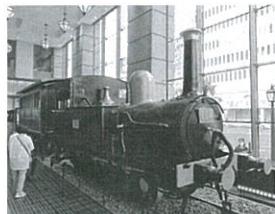
毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
—神奈川政経懇話会—



1872年(明治5年) 10月14日、新橋・横浜間に日本で最初の鉄道が開業してから150年。当時の横浜駅であるJR桜木町駅の「CIAL桜木町ANNEX」には、創業時に運行していた110形蒸気機関車が展示されている。



contents

視点点描	3
部活動とスポーツクラブ	
政治	4
自民、国葬終わって戦国時代へ 岸田政権「サミット花道論」も	
経済双眼鏡	7
低金利政策の転換不可欠 岸田政権、問われる実行力	
経済	8
「はじめの一歩」試練の脱炭素（最終回） 海図示す「道しるべ」5冊	
音楽の森	11
拓郎のラストラン	
くらし2022	12
最賃引き上げ過去最大 それでも「最低水準国」	
かながわTODAY	14

事務局だより

◇2022年10月の講演会
10月24日（月）午後1時30分～3時
ロイヤルホールヨコハマ5階
「リビエラの間」

講師：台北駐日経済文化代表
処横浜分処処長 張 淑玲氏
演題：「直近の台湾情勢及び
台湾と日本の絆」

◇2022年11月の講演会
11月24日（木）午後1時30分～3時

メルヴェーユ「ヴァランセ」
(県民共済プラザビル6階)
講師：中央大学教授 岡嶋
裕史氏
演題：「メタバースとは何か」
※新型コロナの感染拡大の状況
によって中止する場合があります。

【事務局移転】神奈川政経懇話会
事務局は10月15日（土）、横浜メ
ディアビジネスセンターの9階
から12階への移転を予定してい
ます。電話番号やファックス番号、
メールアドレスは変わりません。
同15日は一時的に電話やファク
ス、メール（ホームページから
の講演会申し込みを含みます）
がつながりません。

視 点 描 点



部活動とスポーツクラブ

教員が担つてきた公立中学校の運動部活動の指導をスポーツクラブなどに委ねる「地域移行」の動きが全国各地で進んでいる。急速な少子化で学校単位での運営は難しく、教員の多忙さは待ったなしの課題だ。これまで現場の熱意に支えられてきたが、変革は時代の要請でもあるだろう。

戦後の民主化を契機に、子どもたちの自主性を育む目的で再スケジュールを実現するため、教員が直接指導する「地域移行」の動きが全国で進んでいます。この動きは、教員の長時間労働の他にも問題を抱える。勝利至上主義もその一例で、結果を重視しすぎたトップダウンの指導が本来の狙いとされる「選手の考える力」を奪つてしまふ面は否めない。

学校部活動の長所と、多世代交際や、異動に左右されない一貫性のある指導が期待できるスポーツクラブの長所をうまく融合させられないか。競技に没頭したくてできない貧困家庭の子らへの補助、指導者への対価など新たな財政支援も必要になつてくるだろう。

教育を受ける権利と同じく、生徒らは等しく文化を享受する権利を持つている。

県内の中学校関係者からこんな言葉を耳にした。「問題を抱えてほしい。選手に従わせる方が、競技力が高まる傾向はあるが、

考える力は養われない」。アスリートのメンタルヘルス（心の健康）問題に詳しい北里大学メディカルセンター精神科の山本宏明医師は警鐘を鳴らし、大会を報道するメディアを含めてプロセスを大事にすることの大切さを説く。

ただ一方で、世界でも希有な日本での部活動が子どもらに居場所や生きがいを見いだす機会を与えてきたのも事実だ。これまで学校現場で多く足を運んできたが、熱意ある指導者は運動の場だけで教え子に目を凝らすわけではない。

学習姿勢、生活態度、生徒自身のルーツ。それぞれの境遇に付き添い、ともに汗を流す。運動嫌いで学校嫌いだった子が指導者のう。

まで登り詰めた実例もある。徒らは等しく文化を享受する権利を持つている。

（神奈川新聞社運動部長・下屋鋪聰）

考へる力は養われない」。アスリートのメンタルヘルス（心の健康）問題に詳しい北里大学メディカルセンターエンター精神科の山本宏明医師は警鐘を鳴らし、大会を報道するメディアを含めてプロセスを大事にすることの大切さを説く。

ただ一方で、世界でも希有な日本での部活動が子どもらに居場所や生きがいを見いだす機会を与えてきたのも事実だ。これまで学校現場で多く足を運んできたが、熱意ある指導者は運動の場だけで教え子に目を凝らすわけではない。

学習姿勢、生活態度、生徒自身のルーツ。それぞれの境遇に付